

患者さんへの説明文書（ホームページ記載）

平成 26 年 1 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日の間に、肺非結核性抗酸菌症の治療を受けた患者さんへ。

課題名：肺非結核性抗酸菌症治療による MAC 抗体価の推移

背景：

肺非結核性抗酸菌症の治療効果は、喀痰培養陰性化によって有効と判定されます。しかし、喀痰喀出困難な患者も多くおられます。近年、肺 MAC 症の治癒性を反映するとされる MAC 抗体が保険収載されました。

目的：

MAC 抗体価が、肺 MAC 症治療によって、いかに推移するかを目的とします。MAC 抗体価が、治療効果の判定指標となれば、喀痰培養に頼る事なく、治療効果の判定に有用となります。

対象：

平成 26 年 1 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日までに、附属川崎病院内科で治療を行った肺非結核性抗酸菌症患者を対象とします。

方法：

上記対象者の血清 MAC 抗体と、喀痰培養の結果を治療最後で比較検討します。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。この研究では教員研究費のみを使用します。

また、本教室では、第一三共株式会社、Meiji Seika ファルマ株式会社より、奨学寄附金の受け入れがありますが、利益相反委員会にこの内容を申告し、適正に管理されています。上記企業は本研究には直接関係ありません。

***本研究は呼吸器臨床においては非常に重要な研究であり、対象者については特定されることはありませんのでご心配なされないでください。また、患者さんに身体的、経済的負担をかけることはありません。研究への参加を希望しない方や不明な点などある方は、お問い合わせください。**

【問合わせ先】

総合内科学 1 教授 沖本 二郎

電話：086-225-2111（内線 3873）

メールアドレス：n.okimoto@med.kawasaki-m.ac.jp